

# 愛と心のネットワーク

## 日本型ユニバーサルデザインを育む



### 愛媛県知事 加戸守行さん

かと もりゆき ●1934年生まれ。1957年に東京大学法学部を卒業後、旧文部省(現文部科学省)入省。文化庁著作権課長、旧文部省・教育助成局長などを経て、1988年に同省大臣官房長に就任。1999年、愛媛県知事に就任。2003年、2007年と再選され、現在3期目。著書に「著作権法逐条講義」(著作権情報センター)、「教育行政の組織と作用」(第一法規)などがある

### 文化とスポーツの振興

「3期目を迎え、多くの実績を積み上げられています。まずは知事の専門である文化・スポーツについてお聞かせください。」

加戸「私は旧文部省出身です。文化庁で10年、体育局で5年を過ごしました。知事就任のスローガンとして文化・スポーツの振興を掲げたのも、中央との文化レベルに差をつけてはいけないと思ったからです。県主体で基本づくりから始め、県民オペラやミュージカル、映画などに取り組みました。民間も熱心で2006年には坊っちゃん劇場がオープンしまし



県民オペラ「フィガロの結婚」では愛媛県の文化レベルの高さを示した



愛媛県武道館。県内産の木材を屋根架構や柱材に使用



愛媛FCの選手たちはボランティア活動に積極的に参加する

た。「坊っちゃん」「吾が輩は狸である」「龍馬!」と毎年ミュージカルを上演し、評判も上々です。

スポーツでは2003年に木造の県武道館をつくりました。日本武道館に匹敵すると自負しており、2017年の愛媛国体に向けてスポーツのメッカにしていきたいです。サッカーでは愛媛FCがJリーグ入りし、昨年の天皇杯4回戦で浦和レッズを2対0で撃破。やればできることを見せてくれました。野球では、愛媛マ

ンダリンパイレーツが四国・九州アイランドリーグで活躍中です。選手たちは地域活動にも熱心です。下校時のパトロールなどのボランティア活動に積極的に参加しており、県民の親近感が選手の大きな支えになっています。

「三位一体改革で地方交付税が減らされています。県政の舵取りはいかがでしょうか。」

加戸「愛媛県の未来に向け、体力を維持

させねばなりません。経費削減はもちろんのこと、やむをえず臨時給与カットを行うほか、県庁組織をコンパクトにし、最小コストで最大限の県民満足を達成できる事業を展開中です。さらに規制を見直し、NPOやボランティアとのパートナーシップも進めています。愛媛県民の特性である思いやりと誇りの心で「輝くふるさと愛媛づくり」をめざしています。

### ふるさと愛媛の産業活性化

「ふるさとといえば、愛媛県の特長は豊かな森林資源ですね。UDは人と同時に環境への配慮も含みます。環境面での取り組みはいかがでしょうか。」

加戸「愛媛県は2001年を森林そ生元年と銘打ちました。治山治水の基本は森林です。そこで、県を代表する肱川、重信川、蒼社川の水源地にある森づくり推進モデル事業を行い、あわせて1万haを超える間伐をそれぞれの地域ごとに5カ年計画で実施しました。」

森林保全のために2005年から森林環境税を導入しています。県民ぐるみの保全活動と位置づけ、活動提案を募集しています。間伐材の利用では、火力発電所でのウッドチップの混入や、製紙業で

の間伐廃材の利用などがあります。化石燃料の使用量を削減できるので一石二鳥です。

県産材を利用した景観づくりも進めています。建築基準法で3階建て以上は木造が規制されており、木造で建てるのが困難ですが、2階建て以下の公共建築のほとんどは木造にしています。2001年からは市町村にも呼びかけ、公民館や学校、保育園なども木造にしています。390を超える公共建築のうち、97%が木造というのは全国に例がありません。

さらに環境浄化微生物を活用した環境美化にも取り組んでいます。県の工業技術センターが酵母菌と乳酸菌、納豆菌を混合させて開発した「えひめA1-1」がそれで、河川の腐敗物や汚泥を浄化してくれる微生物を元気にする性質をもっています。県内65の食品加工場等が用いたところ、汚泥が最大で70%減少しました。昨年は埼玉県川口市のドブ川を再生した方法のひとつに採用されたことで評判になっていきます。今後、国内外に普及すると期待しています。

—古い街並みが数多く残っていることも、ふるさと愛媛の特長ですね。



日本で唯一の在宅介護研修センター

る人に救いの手を差し伸べ、支え合う必要があります。私はこのしくみを「愛と心のネットワークづくり」として県民に呼びかけています。きっかけは介護保険制度でした。高齢者や障がいのある人を抱える家庭が公的支援を受けられるようになったのはよいのですが、介護給付費が国家財政を圧迫するまで増大してしまいました。このままでは国家財政が破綻してしまうかもしれません。公的機関にすべてを委ねるのではなく、自分たちでできる限りやって力が及ばないところは介護給付に頼るしくみが必要なのです。そこで県は2004年に在宅介護研修



農業体験を楽しむ宿泊客



かわべ里山道場の体験民宿では釣った魚や収穫した野菜を食べることができる



野鳥の会による「愛リバー活動」



日本食研による「愛ビーチ活動」

加戸―重要な観光資源でもあります。そこで、2004年に「えひめ町並博2004」を内子、大洲、宇和を中心に開催しました。まさにパビリオンをつくらない博覧会です。80もの住民グループをはじめ地域ボランティア団体等が協力し、170万人が参加して成果を上げました。半年間のイベントでしたが、効果は今も継続しています。大勢の参加者が活動を継続し、地域発展のために尽力しているのです。内子では「フレッシュパークからり」が特産物の直販やレストラン、パン工房を展開し、観光の拠点として人の交流と経済の活性化に貢献しています。また、大洲ではかわべ里山道場という生活文化体験ツアーが人気です。釣った魚など地元の食材が好評で、リピーターも増えています。

—豊かな食材は愛媛県の特長です。農林水産品の現状と全国展開についてお聞かせください。

加戸―農林水産業は、他県同様に、大変厳しい状況です。しかしながら、本県には豊かな自然に育まれた海・山・里の素晴らしい産品がたくさんあるので、これらの資源を有効活用し、農林水産業の活性化を図っていきたくと考えております。

センターを設立しました。介護のプロはもちろん、障がいのある人や高齢者を抱えている家族、将来介護を担う人たちが研修する日本で唯一の場です。施設は指定管理者制度にもとづき、特定非営利活動法人「愛と心えひめ」が運営管理しています。多方面の協力により、お金をかけずに済んだことがよかったですね。これは東レ健康保険組合の保養施設だったのですが、閉鎖したのを機に譲ってもらったのです。設備も各地から寄せ集めました。調度品は知事公舎と松山地方局の食堂を閉鎖し、不要になった備品を再利用しています。伊予銀行今治支店からは、改装時にロッカーや机を提供してもらいました。

「愛と心のネットワークづくり」には、多くのボランティアが不可欠です。ボランティアの立場になると人助けもありますが、世のため人のために役立つという喜びがあるはず。「愛と心のネットワークづくり」には、自身も幸せになるという意味合いを含めています。

継続で大切なのは無理をしないことです。自分ができる範囲で行い、社会が成り立てばいいのです。県はそうした取り組みの一環として「愛リバー」「愛ロード」「愛ビーチ」という制度を設けています。河川や道路、海岸の管理をボラン

です。そこで、2005年に県内の農林水産団体、商工・流通団体、さらには保健衛生・消費関連団体、報道機関など、主要40団体とともに、「えひめ愛フード推進機構」を設立し、オール愛媛で食のブランドづくりに取り組んでいます。安心・安全で高品質の優れた農林水産物と加工食品を「愛」あるブランドとして認定し、全国に発信しており、現在、35品目78産品を認定しています。食材だけでなく、調理方法を含めて提案しているのが特徴です。全国公募でつくった「愛媛産には愛がある」という愛媛の農林水産物統一キャッチフレーズも活用しながら、「愛」あるブランド産品を中心に、県外での知名度アップと販路開拓に取り組むとともに、期待できる産品・作物を見出して集中的に支援したいと考えております。

## 「愛と心のネットワークづくり」とUD

—さて、知事が標榜する「愛と心のネットワークづくり」ですが、UDに沿った精神ではないでしょうか。

加戸―まさにコミュニケーションづくりの基本ですね。いつの世であれ、皆が困ってい

ティア団体に委ねるもので、作業用の手袋やゴミ袋は県が負担し、労働や交通費はボランティアに提供してもらっています。現在260団体、1万7000人が参加しています。昔はゴミが落ちていたと行政に苦情が来ていましたが、今は来なくなりました。自分たちで管理している意識が芽生えたからです。

—知事は座右の銘に「惻隱の心」を挙げられています。「愛と心のネットワークづくり」はこの言葉に集約されているのでしょうか。

加戸―これは、孟子の中で公孫丑章句に出てくる言葉です。小さな子どもが井戸に落ちようとしていると、人間であれば誰もが助けようとするはず。そのときの気持ちの中に、子どもを助ければ親から感謝されるだろうとか、自分の評判が上がるだろうと考えて行動する人はいないだろう、人間の本性として助けようとするのだというのが惻隱の心です。孟子は性善説なので、どんな人間でも人の心の痛みを自分の痛みと感ずるはずだと言っています。UDには多様性を尊重する精神がありますが、基本は弱者への思いやりではないでしょうか。その意味で、UDは惻隱の心の延長線上にあると思います。